

「RPAを活用した業務効率化・コスト削減」

開催日：令和6年10月7日（月）

申込期限：令和6年9月13日（金）

実施会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層

ねらい：業務の効率化とコスト削減をめざして、RPAの技術概要や活用事例、活用検討にあたってのポイントを理解し、RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力を習得する。

基本項目	主な内容
1 業務を自動化するRPA (Robotic Process Automation)	(1) RPAの概要 働き方改革の担い手「RPA」 ロボットソフトウェアを動かすフローとは 職務課題と身に付けたいスキル【グループ討議】 (2) 基本操作 Microsoft製「PowerAutomateDesktop」無償化の衝撃 RPAの真骨頂であるループや分岐を実演 (3) 適用事例 Excel、Web画面の操作、処理後のファイル移動など 職務課題と自動化したい業務【グループ討議】
2 RPAを活用した業務効率化と コスト削減策の立案	(1) RPAの特長と注意点 高速、ミスなし、簡易操作の3拍子 アナログNG、アップデート頻出、人材育成が課題 費用対効果の測り方 (2) 適用検討 RPAの適用可否を探る 自分の仕事を棚卸、業務フローを標準化【セルフワーク】 (3) 今後の展望 PC作業を分析する「プロセスマイニング」とは ChatGPTなど生成AIとの協調 これからの業務のあり方【グループ討議】

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



清水 弘之 / 一般社団法人 中部産業連盟

1999年に京都大学理学部を卒業し、大手通信会社でITサービス事業の企画を担当した後、総合家電メーカーにてIT事業の企画リーダーを歴任。2017年より中部産業連盟で新事業創出やDX等のコンサルタント・研修講師として多くの実績を重ねる。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

RPAの導入により、従来の作業方法を一新し、自動化できます。高度な機能を実現する直感的操作の実演、及び具体的な適用事例を通じて、業務にどのようにRPAを組み込めるかを探求します。更に、RPAと最先端テクノロジー（プロセスマイニング、生成AIなど）の融合で変わる未来の業務スタイルを体感できます。